

那 須 英 二 議員



再生エネルギー転換に向け イニシアチブの発揮を

問

原子力発電について聞く。
(1) 仮に、大飯原発から放射能が漏れれば、風によって市に放射能が降る可能性があり、木曽川上流に散布されれば、水も脅かされる状況になってしまう。

電の構成比は25%強（が適当）だと思っており、早く再生・自然エネルギーに代替すべきと思っている。
エネルギー政策は国策であり、運動には参加しない。
(2) 約3千㎡の太陽光パネル設置を計画している市民

補助事業と節電 対策を進める

答 市長

(1) 個人として、原子力発

早急に原発ゼロを目指していけるように、市民、全国の首長等と連携し、住民の命や暮らしを守る仕事をしてほしいがどうか。
(2) 再生可能エネルギーへの転換に向け、市長にイニシアチブを発揮し、役割を果たしてほしいがどうか。



▶ 太陽光発電装置を設置した住宅

もいる。

住宅用太陽光発電施設導入促進費補助金は、いろいろな業者があるので、しっかりと精査しながら補助事業を進めていきたい。
市としてリーダーシップを発揮し、節電対策を考えてやっていきたい。

児童クラブは4 年以上も対象に

問

核家族化が進み、雇用悪化で子どもを預けて働かなければ生活が困難な家庭が増えている。

児童クラブについて聞く。

(1) 利用状況
(2) 定員いっぱいの子供クラブはどこか。
(3) 待機児童はいるか。
(4) 子どもが一人で留守番し、ゲームをする状況はよい環境

年齢拡大も視野 に入れ進めたい

答 児童課長

(1) 8 児童クラブの定員が343人で、9月現在252人が利用している。

(2) 白鳥児童クラブである。

(3) 今待っている児童はいない。

(4) 今後、利用児童の年齢拡大も視野に入れ、進めていきたい。

(5) 今後、施設拡充や新たな施設確保も検討する必要があると考えている。

ではない。集団生活の交流は素晴らしいと実感しており、円滑なコミュニケーションがとれるメリットがある。保護者から、4年生以上も預けられるようにしてほしいと、声が上がっているが、どうか。
(5) 愛西市は施設を増やし、4年生の受け入れを決定している。
市も配慮してはどうか。